

## イノアック住環境 『空調関連商品 総合カタログ』 訂正表

○令和4年版の国土交通省公共建築工事標準仕様書より  
断熱材被覆銅管の断熱厚さが、銅管の外径によらず  
液管を10mm以上、ガス管を20mm以上とされました。  
以下の商品の適合が変更になります。

(P. 27)

- ・ AS-2 国土交通省標準仕様適合（液管）○ → ×
- ・ AS-3 国土交通省標準仕様適合（液管）○ → ×

(P. 28)

- ・ APH-24 国土交通省標準仕様適合○ → ×
- ・ APH-35 国土交通省標準仕様適合○ → ×

(P. 29)

- ・ ASK-3 国土交通省標準仕様適合（液管）○ → ×  
表記訂正
- ・ ASK-3 保温材肉厚（mm）9 → 8

---

○JCDA 0009 「冷媒用断熱材被覆銅管」規格が  
令和4年4月1日に改正されました。

(P. 32)

- JCDA 0009 : 2022（冷媒用断熱材被覆銅管）抜粋

### 原管の種類

原管は、JIS H 3300 箇条4に規定する表1の合金番号によるものとする。

表1-原管の種類

名称	合金番号
無酸素銅	C1020
りん脱酸銅	C1201
	C1220

## 断熱材の種類

断熱材は、難燃性を有するものとし、表2のa)b)のいずれかとする。

表2-断熱材の種類

断熱材の種類	記号
a) JIS A 9511に規定される A種ポリエチレンフォーム保温筒2種	PEF-N
b) a)以外の発泡プラスチック	EXC-N

## 寸法及びその許容差

### 原管

原管の寸法の許容差は、JIS H 3300 筒条6の普通級を適用する。ただし、JIS H 3300で規定する(+)側だけ又は(-)側だけに指定する場合は、適用しない。

### 断熱材被覆銅管

断熱材被覆銅管の寸法は、表3.4による。許容差は、JIS A 9511のA種ポリエチレンフォーム保温筒の寸法規定を適用する。

表3-断熱材被覆銅管の寸法(○又は○L)

単位 mm

原管質別	原管平均外径	原管肉厚	断熱材の厚さ		コイル巻管長さa)b)
○又は○L	6.35	0.80	10.0以上	20.0以上	20,000 +600 -0
	9.52	0.80			
	12.70	0.80			
	15.88	1.00			
	19.05	1.20			

注 a) コイル巻管長さは、受渡当事者間の協議によって変更することが出来る。

注 b) コイル巻管長さは、銅管長さとする

表4-断熱材被覆銅管の寸法(1/2H又はH)

原管質別	原管平均外径	原管肉厚	断熱材の厚さ		直管長さa)b)
1/2H又はH	6.35	0.80	10.0以上	20.0以上	4,000 +50 -0
	9.52	0.80			
	12.70	0.80			
	15.88	1.00			
	19.05	1.05			
	22.22	1.20			
	25.40	1.35			
	28.58	1.55			
	31.75	1.70			
	34.92	1.85			
	38.10	2.00			
	41.28	2.15			
	44.45	2.30			
	50.80	2.65			
	53.98	2.80			

注 a) 直管長さは、受渡当事者間の協議によって変更することが出来る。

注 b) 直管長さは、銅管長さとする